



新市まちづくりの基本方針

新市まちづくりの基本理念（まちづくりの基本的姿勢）

「“地域力” が奏でる “都市力” の創出」

それぞれの地域や地区コミュニティの特性を活かしながら 10 万人都市の潜在力を最大限に発揮し、これらが連携することにより新しい価値を創造していきます。

<視点>

- ◆ 「地域力」を育み新しい地域創造をめざす
- ◆ 「都市力」を最大限に発揮する
- ◆ 市民参画によるまちづくりを進める
- ◆ 行財政運営の効率化を進める

新市がめざす将来都市像

「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」

自然や歴史・文化的な資源と人々の営みというような「地域力」を育てながら「都市力」を発揮する新しいまちづくりを実践する主体は市民です。この「地域力」は、市民の一人ひとりが、あるいは地区コミュニティがお互いの信頼関係を築きながら共有できる将来像を描き、その実現に向かって協働し、南九州の拠点都市として、また、県都鹿児島市の隣接都市として、新市の持つ「多彩な特性と基盤の蓄積」を最大限に活かし、それぞれの潜在力をさらに向上させるとともに、互いの連携を強くすることにより相乗効果を高め、自立性の高いまちづくりをめざします。





新市まちづくりの基本方針（将来都市像実現に向けた7つの政策）

新市における速やかな一体化を促進し、地域の発展と市民福祉の向上を図るとともに、南九州の拠点都市としてふさわしいまちづくりの総合的かつ計画的な推進を図るために、「コミュニティ」、「保健福祉」、「教育文化」、「生活環境」、「産業振興」、「社会基盤」、「市民参画」の7つの分野の基本方針を定めます。

- 1 コミュニティを活かし地域力を育むまちづくり（コミュニティ）
- 2 健康でともに支え合うまちづくり（保健福祉）
- 3 地域の特色を活かした教育・文化のまちづくり（教育文化）
- 4 誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり（生活環境）
- 5 地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくり（産業振興）
- 6 都市力を創生するまちづくり（社会基盤）
- 7 みんなで進める市民参画のまちづくり（市民参画）

新市の都市構造

●ゾーンごとの振興方向

- ・都市文化ゾーン 「にぎわいと活力に満ちた、風格のある市街地の形成」
- ・田園文化ゾーン 「水と緑と温泉に抱かれた、美しく趣のある田園地帯の形成」
- ・海洋文化ゾーン 「水産業の安定的な発展と海洋性の観光レクリエーションゾーンの形成」

●交流・連携軸

- ・九州西岸軸（南九州西回り自動車道・国道3号/328号・九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道）
- ・新市東西軸（甑島交流ライン・川内川連携ライン・空港アクセスライン・アジア交流ライン）
- ・地域交流軸（川内樋脇連携ライン・川内入来祁答院連携ライン・東郷樋脇連携ライン・
東郷樋脇入来連携ライン・川内東郷連携ライン・甑島縦貫ライン・都市核道路）

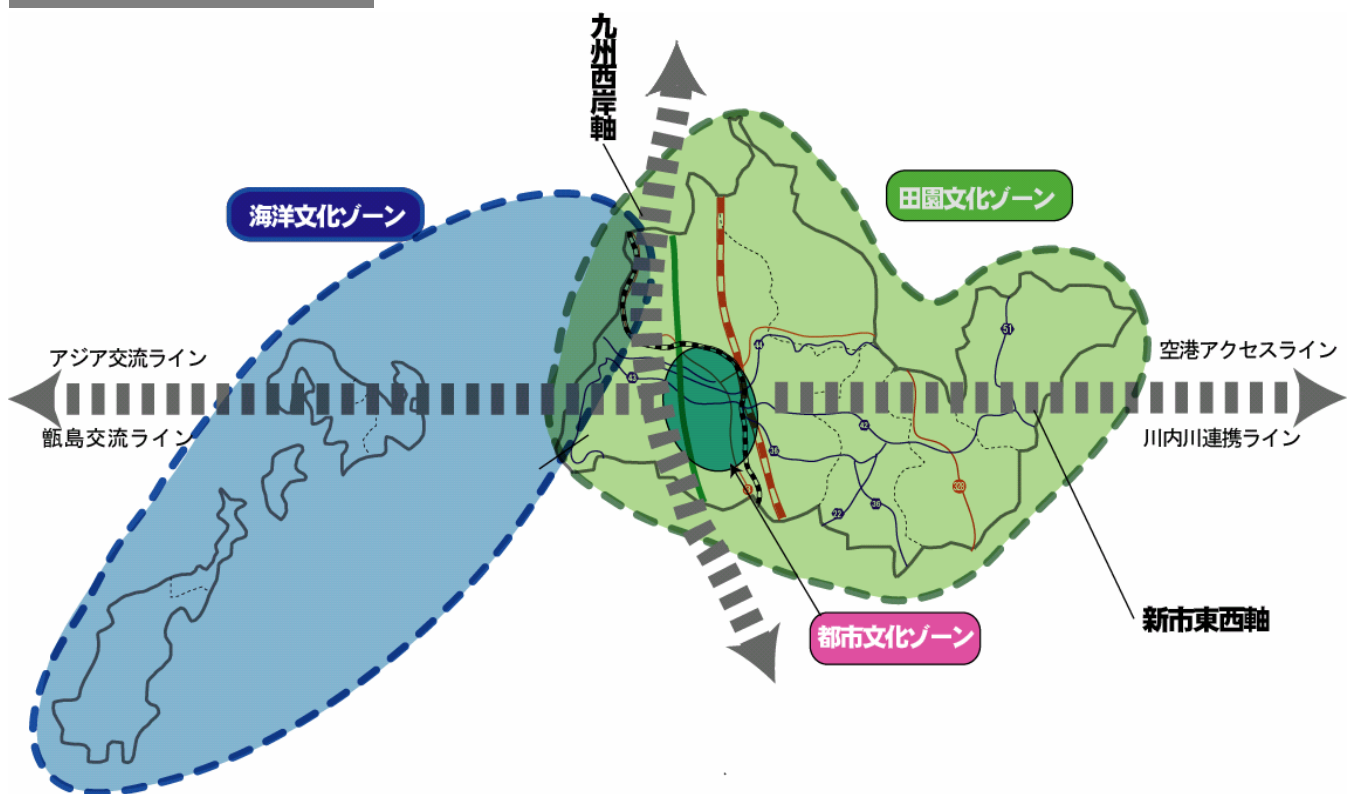
●土地利用の基本的な考え方

新市においては、将来のまちづくりを見据え、総合的・長期的な観点から土地利用を図ります。





都市構造のイメージ



地域交流軸

